

子ども夢フォーラム

News!

NPO(非営利任意団体)
2017. 3. 15 (No. 100)

【隔月発行】 発行責任者：高木真理子

～桜の開花が待ち遠しいこの頃、おげんきでしょうか～

春の気配を感じ始める頃にピッタリと思うのは“三寒四温”という言葉！
寒い温かいを繰り返しながら少しずつ春に近づいていく様をととてもよく表して
いて、なんとも言い得て妙！ 季節の移ろいにみられる“傾向”を発見した
人の知恵は、すごいです！



♪ はるやすみ～♪



進級、進学準備でしょうか～。

新しいノートや鉛筆を揃える親子連れを文具店でたくさんみかけました。

満開の桜の校門をくぐる日も、もうすぐですね。



子ども夢フォーラム News は、100号に到達しました(*^^)v
これってなんだかすご～い気がします！
富士山だったら、何合目あたりでしょう。

子ども夢フォーラム News は、

- ★その時々活動を報告させていただく手段でした。
- ★子どもの声を社会への問題提起として発信する手段でした。
- ★皆さんに活動への支援をよびかける手段でした。
- ★活動を振り返り、団体の課題を整理する場でした。

そして、そして、次への助走のための踏切板でした。

News の出来栄に、「なんだか内容が浅いなあ～」
「想いは伝わるかなあ…」など、いつも臆しながら、それでも
投函すること 100回！ 100号を数えました！

「いつも楽しみにしてますよ^^」など、皆様のお気持ちに気を良くし、
次号発行の勇気につながっていたように思います。

活動に興味と関心を示して下さった方々と
実行委員会をスタートさせたのは1999年夏でした。

私(高木)のつぶやきを含め、
これからも皆様に活動のご報告や
ご案内を届けさせていただきたい
と思っています。
これからもどうぞおつきあいくだ
さいますように！

5年目、10年目、15年目・・・だからといって、
銘打ってなにかをしたわけでもなく、やれることを
出来る時にすすめてきた日々の先に100号がまっ
ていました。



ご報告します！

「メディア漬け」で壊れる子どもたち ～スマホ社会の落とし穴～

2017年2月18日(土)
石川県女性センター

講師：清川 輝基氏

(NPO 法人「子どもとメディア」代表理事)



ネット環境が
子どもにどんな影響が
あるのかを中心に
お話しくださいました。

■進行する子どもの「劣化」

睡眠・・・睡眠時間が短くなっている = 寝ない子は育たない
体力・・・運動能力は1985年がピーク

○歩かない

○視力は劇的に低下

太陽光をずっとみていると目が見えなくなると同じ状況をつくる
LEDブルーライトがタブレットやスマホに含まれている。

メガネ店でブルーライトブロック眼鏡があるのはそのため

学力・・・脳科学者の川島隆太東北大教授の調査論文のタイトルになっている

「スマホで子どもはバカになる」を紹介くださいました。

心に異変・・・子ども・若者の自殺は世界最多、自己肯定感は世界最低



人間の能力は使わない限り絶対発達しない！

ほか、■スマホ子育ての危険性、■急増するネット依存・ネットトラブル、■ネット社会に
どう向き合うかなどの観点からもお話は熱く続きました。そして、メディア依存で何が失
われるかを表し警告を促す外国のCMを見ました。日本の企業や国がもっと高い意識を
もったら国の劣化はかなり防げるのと思いました。

メディア環境が当たり前の今、いつから？ どれだけ？ リスクは？ など、学びを得ることを
を繰り返すことの必要性を感じました。

講演後、「良かった」「ありがとう」の声をたくさんいただきました^^。

こちらこそたくさんの方にご参加いただきありがとうございますございました！



清川氏は、NHKで長く報道現場に関わり、「ニュースセンター9時」「新日本紀行」など担当。
長野放送局長、NHK放送文化研究所研究主幹(メディアと子ども研究プロジェクト)などを歴任。
その間、慶応義塾大学メディアコミュニケーション研究所講師などをつとめてこられた方です。
現在は、不登校を経験した子が通うさくら国際高等学校の名誉校長(初代校長)。日本小児
科医会「子どもとメディア委員会」特別委員など。
近著に「ネットに奪われる子どもたち～スマホ社会とメディア依存への対応～」。

私たちは、日々のチャイルドライン活動の中で、子どもたちから多くのことを学ばせてもらっています。
子ども夢フォーラムでは、そうした子どもの声からの気づきを講演会や講座にとりあげて、社会発信して
います。参加されたお一人おひとりの中に新たな気づきをとって取り込む機会になればうれしいです。
そして、日常のひととの関わりにおいて、なにかしらお役にたつならどんなにいいかと思えます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

— 東日本大震災から6年経過！ —

あれから6年！6年という年月は、生まれた子は小学生に、高校生だった子は大人の
仲間入りにと、我が子の成長ぶりに感動する節目の6年ですね！

今もなお、大変な生活を強いられている方々にとって、近い将来に復興の節目を感じ
られる日が来ることを念じてやみません。

復興の進捗状況を確認するためか、あの大震災を忘れないでいるためか、テレビ・ラ
ジオからは、当時の様子が頻りに流れていました。それは、当時へのフラッシュバック
を容易にします。眠れないと訴える子がいます。

福島から避難してきた先でいじめにあった子が“生きる”と決断してくれたことに
感謝です。周りの大人が吐く心ない言葉は、その近くにいる子どもをいじめの加害者に
します。

復興はまだまだ先の感を強くされた方も多いのではないのでしょうか。

復興を指揮する立場にある人たちの中に、“他人事とは思えない”と我が身に照らした
緊張感と、人への優しさを持って任にあたっていたいただきたいと願ひます。



<参考>

日本小児科医会「子どもとメディア」対策委員会は、2004年6月に「子どもとメディア」の問題に対する提言を公表しました。影響の一つめにメディア接触の低年齢化、長時間化。二つめは、メディアの内容をあげています。具体的に提言として下記5つを挙げています。

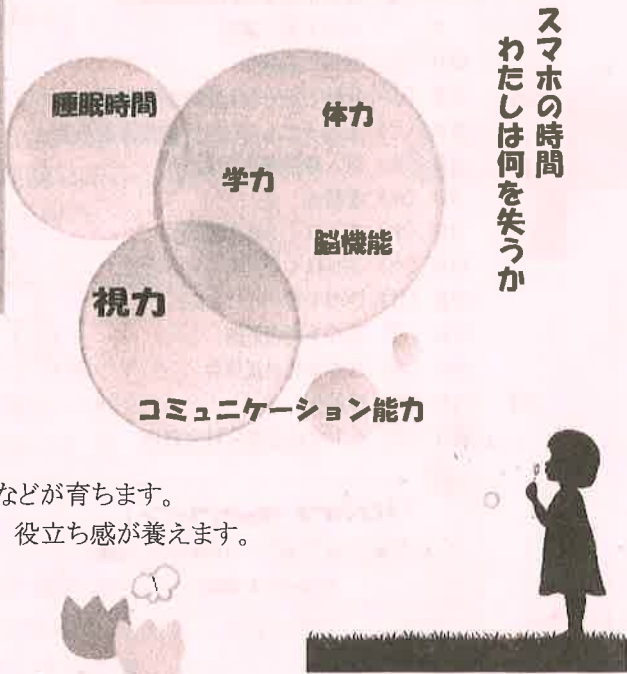
1. 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
2. 授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴は止めましょう。
3. すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
4. 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
5. 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

2013年には「スマホに子守りをさせないで」とよびかけ、幼児のメディア利用を一日2時間までに制限することを提唱しています。

昨年12月には、日本医師会と共同で下の二つのポスターを制作。



体の変調などを訴える子どもの様子にメディアの影響をいち早く感じるのは、賢明な小児科医なればこそですね。そこからの提唱を私たちは重く受けとめなくてはと思います。



～遊びは子どもの主食です～

- ・親の顔と声と手は、赤ちゃんにとって最高のおもちゃです。
- ・五感や体力を育て、毎日が新しい発見や体験の連続です。
- ・ことばや運動能力、社会性（ルールを守る）、相手を思いやる心などが育ちます。
- ・子どものやりたがる気持ちを大切に。親子のかかわりで生活能力、役立ち感が養えます。
- ・しっかり遊ぶとぐっすり眠り、よく食べるようになります。

女性と子ども支援ネットワーク公開講座

だれもが安心して暮らせる社会を

2月25日(土)

金沢市教育プラザ富樫

講師：近藤恵子氏

(女性と人権全国ネットワーク共同代表)



ここでは、DV被害の実態、被害の深刻化、性暴力被害者についての理解などについて学びました。閉ざされたプライベートな領域で起きているので外からは見えないこと。子どもは独立した被害当事者であること。近親者・関係者など地域の安全な市民生活が脅かされるという被害の影響があること。DVは命が直接、左右される犯罪であること。・・・

地域住民ひとりひとりがサポーター！
暴力によって何かを解決しようとしな
社会をめざしましょう！



「イオンイエローシート」キャンペーン！

毎月11日は、イオン各店の「イオンレシートの日」です。登録している市民団体のboxへいれると、レシート合計金額の1%分の希望商品がその団体に寄付されます。

子ども夢フォーラムのboxへの投函のご協力をよろしくお願いいたします。

登録店舗：イオン松任店です。



【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、月～土、全国で実施中★
0120-99-7777 (16時～21時)

≪いしかわは、金曜日と土曜日に受けています！≫

- 2月 5日(日) CL運営者会議(東京)
- 7日(火) 講演(加賀)
- 9日(木) 研修
- 10日(金) 日本女性会議部会
- 15日(水) リレほく石川事務局会
- 17日(金) 金沢市男女共同参画審議会
" パパ子育て講座
- 18日(土) 清川氏講演会
- 25日(土) 女性と子ども支援NW公開講座
- 27日(月) 金沢子どもを育む行動推進委員会
- 3月 3日(金) 県人権指導者養成研修
- 8日(水) 委員会
- 9日(木) りれほく3県事務局会
- 15日(水) リレほく石川実行委員会②
- 19日(日) 杜の子まつり(仙台)
- 22日(水) 受け手継続研修
- 23日(木) 日本女性会議部会
- 4月 14日(金) 委員会
- 20日(木) 日本女性会議分科会部会



「パパママ・ホットライン」

火水木金 (10時から15時)
076-214-5666

支援会費お振込みのお願い

2017年度(2017.4.1～2018.3.31)

2017年度(H29年度)も変わらず
子ども夢フォーラムへ
ご支援をよろしくお願い申し上げます。

子ども夢フォーラムは、皆様の支援会費と助成金などで運営しています。これまで同様、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ここ数年、助成金の獲得は残念な結果が続いています。どうも今は、細かく特化された活動に助成する傾向です。子どもの内面的な部分に対する理解は、これまで以上に難しくなっていることを、助成金申請の面からも感じます。それでも、めげずに出し続けていかなければ…！団体運営は厳しくなるばかりですが、皆様のご指導、ご協力を仰ぎながら、踏ん張っていきたくと思っています。

振込用紙を同封させていただきました。
ご無理のない範囲でご協力いただければ幸いです。
どうぞよろしくお願いいたします。

会費お礼(2016.10～2017.3)

2018年度後半にお振込みいただいた方のお名前です。
本田玲子様、中山宇一郎様、吉田正樹様、大杉忠夫様、
吉田弘文様、村上正之様、杉本隆様、轟千栄子様、
徳田瑞恵様、村井秀俊様 ほか匿名2名



～豊かな子どもの未来のために～

〈子ども夢フォーラム〉

NPO(民間非営利団体)

〒921-8101

石川県金沢市法島町11-8

いしかわ子ども交流センター2階

TEL/FAX 076-214-5680

URL <http://www.yumeforum.org>

E-mail kodomo@yumeforum.org

郵便振替口座 00700-5-46262



〈子ども夢フォーラム〉は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。

子どもの声からの気づきすることも重要と捉え、



「パパママ・ホットライン」や「パ

子を大人社会にフィードバック 大人の話を受けとめる「パパママ子育て講座」など、様々な活動を展開しています。

同時に他団体とのネットワークも大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたくと思います。